

藻琴山トレイルマップ

National
Parks
of Japan



阿寒摩周国立公園

藻琴山プロフィール

藻琴山は標高1,000mと屈斜路カルデラ外輪山で最も標高が高く、「北海道自然100選」にも選ばれている山です。亜高山帯に位置する山岳であり、山頂までダケカンパ低木林が発達しています。その山頂部の植生では、チシマギョウ群落、チシマセンブリ群落、ナガバキアザミーリシリシグ群落、ハイマツコケモモ群落の4群落が認められています。この山を楽しむコースはおもに3つのルートがあります。



スカイライン遊歩道コース



「ハイランド小清水725」から登る代表的なコース。駐車場脇に登山口があります。最初はハイマツのトンネルのような登山道が続きますが、次第に視界が開け、左手に屈斜路湖を望みながら尾根沿いを歩いていきます。標高940mのピークを過ぎるとゴジラの背中のような屏風岩の姿が。初夏には屏風岩周辺や岩肌にはエゾノハクサンイチゲの群落が広がります。屏風岩付近の岩場は悪天候時などに滑りやすくなりますので、慎重に進みましょう。屏風岩から0.8kmほど進むと広場があり、休憩や昼食などにうってつけの場所です。ここまで来たらまもなく頂上。少し斜度のある登山道を登りきると、屈斜路湖が目の前に広がります。一望できる屈斜路カルデラのほか、遠くは雄阿寒岳、大雪山系、知床連山やオホーツク海など、広大な美しい景色を見ることがができます。アプローチは手軽で1時間ほどの道のりですが、満足度は大きいコースです。

歩行距離	片道 約2.0km	標高差	275m
所要時間	[登り] 1時間 [下り] 45分 [合計] 1時間45分		

グレード 2 半日程度の軽登山
山登りの装備はしていますか？

1 登山口 (ハイランド小清水725)	60分↓	45分↑
2 頂上		



アクセス (自動車の場合)



- 藻琴山(スカイライン遊歩道コース) 登山口
川湯エコミュージアムセンター→国道391号線・道道102号線(約20分)→藻琴峠→ハイランド小清水725
- 藻琴山(登山道コース) 登山口
川湯エコミュージアムセンター→国道391号線・道道102号線・林道(約50分)→銀嶺水

周回コース



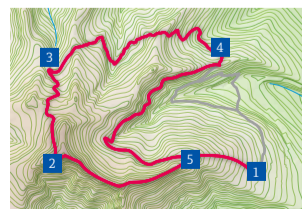
スカイライン遊歩道コース、登山道コース以外にも「トドマツ遊歩道」、「望岳台遊歩道」、「銀嶺水遊歩道」が整備されています。計5つの登山道はそれぞれ短いものの、すべてを繋ぐと藻琴山の東側をぐるりと周るように歩くことができます。周回約8.1km、約3時間40分ほどの一番長いコースとなります。

周回コースは森の中を歩くため、展望ポイントは少ないですが、ゴゼンタチバナやタニギョウなどの花々や、ダケカンパやトドマツが多く自生する森の雰囲気やゆったりと味わうことができます。また、アップダウンの多いコースとなっているので、変化に富んだ行程や景色を楽しみたい方におすすめです。

歩行距離	周回 約8.1km	標高差	275m
所要時間	[合計] 3時間40分		

グレード 3 1日かりの本格的登山とロングハイク
天候に注意! 装備は万全ですか?

1 ハイランド小清水725	60分↓ (スカイライン遊歩道コース)
2 頂上	20分↓ (登山道コース)
3 銀嶺水	60分↓ (銀嶺水遊歩道コース)
4 トドマツ遊歩道始点	70分↓
5 望岳台遊歩道分岐	10分↓
1 ハイランド小清水725	



登山道コース



道道102号(網走川湯線)の「藻琴山登山入口」の看板を曲がり、8合目にある「銀嶺水」まで自動車で行くことができます。「銀嶺水」からは勢いよく湧き水が湧き出しており、口に含むと甘味が感じられる軟水となっています。

「銀嶺水」に隣接して山小屋があり、その裏にはバイオトイレが設置されています。登山の準備をする際に利用できますが、冬期間は閉鎖されているため事前に確認が必要です。

またコースタイムは片道30分と、一番短いコースとなっていますが、十分に水分を確保して登山をスタートしましょう。

ハイマツの多いスカイライン遊歩道とは違い、最初はダケカンパ林の中を歩いていきます。角度的には登山中に屈斜路湖を見ることができませんが、ハイマツ帯を抜けて山頂直下の広場に出るとオホーツク海側の景色を眺めることができます。なお、この広場でスカイライン遊歩道と合流します。

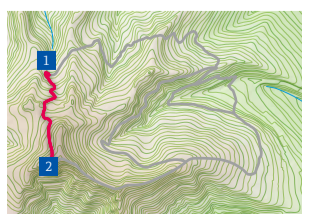
もう一息登って頂上に到着すると、屈斜路湖をはじめとするカルデラの様相も一望することができます。

※銀嶺水に向かう林道は狭く、急カーブや急勾配もありますので運転にはご注意ください。

歩行距離	片道 約1.0km	標高差	195m
所要時間	[登り] 30分 [下り] 20分 [合計] 50分		

グレード 2 半日程度の軽登山
山登りの装備はしていますか?

1 登山口 (銀嶺水)	30分↓	20分↑
2 頂上		



トレイル利用にあたって

自然の中での活動は自己管理、自己責任が原則です。

自然の中には思わぬ危険や事故のリスクがあることを十分理解し、事前準備や体調管理等をしっかりとした上で、何かあった場合には自己責任という認識を持って、利用しましょう。悪天候時には落石、倒木、落枝、土砂崩れなどが起こる可能性が高まるため、中止を含めて行動について慎重に判断してください。

- 自分の体力や体調、装備にあったレベルのコースを選んで歩きましょう。
- 山の天候は変わりやすいので、事前に十分な情報を収集しましょう。また、雨具などの装備を忘れないようにしましょう。
- 北海道の山は標高1,000m以下でも急激に気温が下がることがありますので、夏でも防寒着を忘れないようにしましょう。
- 登山道や散策路の途中には水場がありませんので、水は必ず登山前に用意しましょう。
- 登山道にはトイレがありません。入山前にトイレを済ませるとともに、長時間の行程に不安がある場合には携帯トイレを持参しましょう。なお、携帯トイレ用ブースはありません。
- 登山口にある登山者名簿に必ず記入しましょう。
- 登山道から外れないようにしましょう。
- 全てのゴミは持ち帰りましょう。
- 野生動物に近づいたり、餌を与えないようにしましょう。
- 林道を車両で通行する場合は、車高の高い4WDが推奨されます。なお、林道は季節や道路状況に応じて閉鎖されている場合もあります。

危険な動物等について

ヒグマ: クマ鈴やクマスプレーを携行しましょう。ヒグマに出会わないことが大切です。ヒグマは人間を避ける傾向がありますので、音をたてるなどして自分の存在を知らせましょう。

ダニ・アブ: 長袖、長ズボンを着用し、肌を露出ないようにしましょう。虫除けも忘れずに。スズメバチ: 黒い服は避けるようにしましょう。もし威嚇されたら、白いタオルで頭と首を覆い、姿勢を低くし、ゆっくりと後ずさりしてその場を立ち去りましょう。

※キタキツネの糞便を介したエキノコックスの感染を防ぐために川等の生水を摂取しないようにしましょう。

グレーディングについて

グレード 1 散策	グレード 2 軽登山	グレード 3 日帰登山・ロングハイク
・1時間程度で気軽に自然散策を楽しみたい方 ・ハイキングの経験がほとんどない方	・半日程度で登山を楽しみたい方 ・多少の登山経験がある方	・1日程度で本格的に登山を楽しみたい方 ・1日程度のロングハイクを楽しみたい方 ・登山・ロングハイクの経験がある方
帽子・歩きやすい服装・運動靴	帽子・登山の服装・登山靴	帽子・登山の服装・登山靴
リュック・ごみ袋・水筒・地図・雨具		
—	行動食・防寒具	行動食・防寒具・コンパス ヘッドランプ・携帯トイレ

このグレーディングは阿寒摩周国立公園内のトレイルに限定し適用されるものです。

【発行】環境省 阿寒摩周国立公園管理事務所 2020.10

お問い合わせ

川湯エコミュージアムセンター

北海道川上郡弟子屈町川湯温泉2丁目2番6号

Tel:(015)483-4100

https://www.kawayu-eco-museum.com/



マップの位置づけ

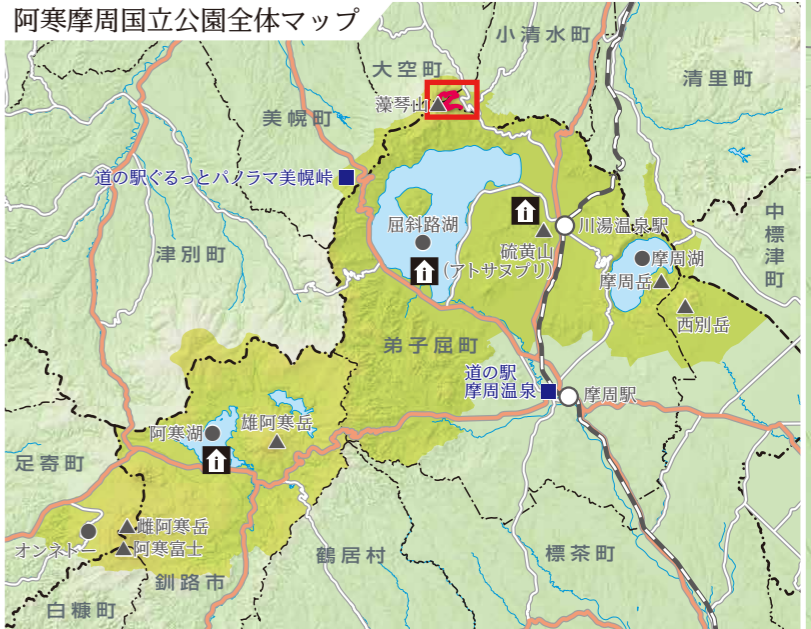
本マップは、阿寒摩周国立公園内で一般的に歩くことが可能なトレイルを環境省が紹介するものです。各トレイルの土地所有者、管理者はそれぞれ異なり、すべてを環境省が所有、管理するものではありません。各機関においても自己管理、自己責任を前提として利用者のために共用しており、登山中に起きた事故については一切責任を負いません。

※アイヌ紋様デザインは一般社団法人阿寒アイヌコンサルンの認証を受けています。

藻琴山コース



駐車場	キャンプ場	登山道
お手洗い	ビジターセンター	その他遊歩道
休憩所 / ベンチ	登山口	国道
展望地 / 景勝地	距離ポイント	道道
高山植物		林道
山小屋		



周辺の植物

ツマトリソウ (開花時期 6月)	コケモモ (開花時期 6月～7月)	ウコンウツギ (開花時期 6月～7月)	ハクサンチドリ (開花時期 6月～7月)	エゾノハクサンイチゲ (開花時期 6月)

このトレイルマップに掲載されている地図の作成に当たっては、国土地理院の国土基本情報を使用しました。